

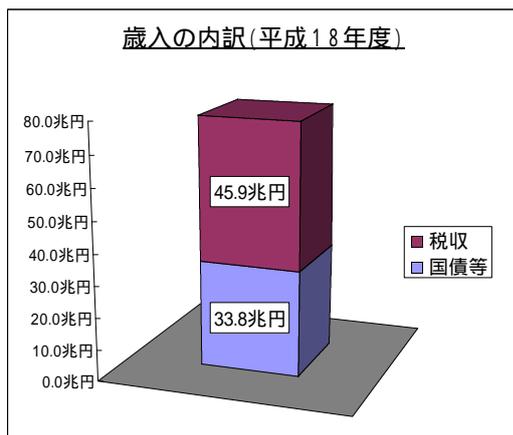
消費税はいつ何%上がるのか？

景気は少し回復したものの、国の財政事情はほとんど改善されておらず、小泉総理退任後に消費税率の引き上げが予定されています。

政府の「財政制度等審議会」では「財政の立て直しには、消費税率を22%とすることが必要」という意見もありました。

まだまだ足りない国の税収

平成18年度の国の歳出は、79兆7千億円で、税収予想は45兆9千億円となっています。

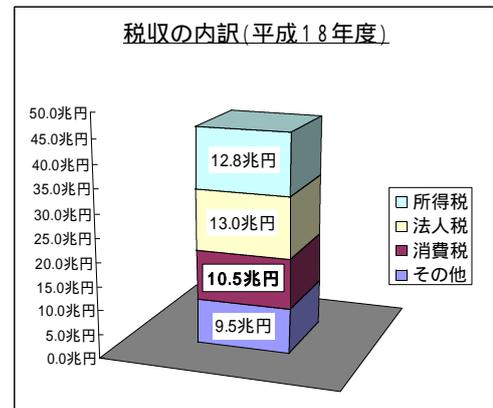


家計でたとえると、年収459万円なのに797万円も使っており、差額300万円超は借金で埋め合わせている状態です。

ここ2年間は税収が回復しているものの、国の借金である「国債」の残高は年々増え、平成18年度末で542兆円にも。年収459万円で、借金が5420万円もあることとなります。(金額は国税庁HP、以下同様)

税収の内訳は？

消費税の税収は年々増えて、国税の約1/4を占め、「消費税1%で2兆6千億円」の税収となっています。ちなみに5%のうち、国税の消費税は4%で、残り1%が地方消費税です。



歳出との差を埋めるには・・・

国の「歳出」と「税収」の差額がいつまでも埋まらなると、国債は増えるばかりです。

歳出をもう少し切りつめてほしいのですが、なかなか思うように進んでいません。一方、税収のうち法人税と所得税は、諸外国との比較で引き上げはむずかしくなっています。

平成18年度の歳出と税収の差33兆8千億円を消費税の増税で無理やり埋め合わせると、何と「13%」もの増税となります。
(33兆8千億円 ÷ 2兆6千億円 = 13%)

地方消費税もスライドして3%引き上げになると、合計で16%の税率アップで、現状の5%から「21%」に！、冒頭の「22%」もあながち絵空事ではありません。

消費税はいつ何%上がる？

消費税率は、いつどの位引き上げるのでしょうか？

谷垣財務大臣は8月3日に、「平成21年度までに(消費税率を)3%引き上げて8%とする」考えを明らかにしています。

税率アップとなると、景気が悪くなることは避けられません。ここ1~2年がどの会社にとっても儲け時であることは間違いありません。
(落合 孝裕)